

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 7 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 1 1 番 澤 本 長 俊

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1)	放課後児童クラブ（学童保育）の実施体制及び質の向上 発 言 事 項 について
要 旨 （項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。）	
近年、子どもの数が減少している状況であるのに、共働き世帯の増加等に伴い、放課後児童クラブ(学童保育)の需要は高まり続けている。保護者が安心して働き続けられる環境を整え、子どもたちが放課後を安全かつ豊かに過ごせる場を確保することは、高島市にとっても緊急かつ重要な課題であると考えます。学童保育は、ただ子どもたちを決まった時間に預かって、見守るという託児所ではなく、学校とはまた違った環境の中で、遊びや友達との時間などを通じて、成長していく大切な場所であり、そういったことが求められている場所でもある。	
そういったことを踏まえ、市内の学童保育運営をさせていただいている方々とお話をさせていただいてきた。本当に、有意義なお話をさせていただき、私が考えることを伝えると同時に、また運営させていただいている方々のお考えも伺い、今後の学童保育について、建設的な懇談をさせていただいた。	
そこでまず、学童保育の施設における子どもたちの安全、安心ということを観点に現在の状況を見させていただき、今後もずっと現在の状況が続けていくことで	

良いのか、それとも施設の環境を考えると、別の環境で安全、安心が確保できるのではないかと考えた。

高島市内の学童保育は、民間物件の借上げや利用されなくなった公共施設等を簡易な改修をして、運営がされているのがほとんどである。

以前から私は、子どもの数が減り、学校の教室に空きができていたので、そこを学童保育に利用できれば、学童保育施設までの移動がなくなり、交通安全面でも、また不審者などに対する安全も確保できるのではないかと考えている。また学校施設は、耐震工事も施工済みであり、すでに強固な安全体制が整っていると思う。

- ① 子どもたちの安全確保、また財政的コスト削減や学校との連携強化などの観点から、学校の空き教室など、校内設置の有効性について、どのように考えているか、また学校現場(教育委員会部局)と学童保育(子育て部局)との壁を超えての協議についてこども未来部、及び教育委員会の考えを問う。

次に、子どもたちの切れ目のない成長を支えるためには、「保・幼・小・中」の教育・保育連携の枠組みに、放課後の貴重な生活の場である学童保育をしっかりと位置付け、密に連携を図ることが不可欠であると思う。市内の学童保育運営者様にお聞きすると、すでに一定の情報共有や連携がされているところもあるようだが、市内全域ではない状況であった。

このことは、こども未来部と教育委員会が、部局を横断してでないと、「保幼小学童中」という枠組みでの連携が進まないと思う。

- ② 保幼小中の連携推進の中に、学童保育も組み込み、子どもたちの情報共有、連携の体制づくりについて、こども未来部、及び教育委員会の考えを問う。

次に、全国的にも指導員(放課後児童支援員等)の不足が深刻な課題となる中、保育士等の処遇改善は一定程度進んできた一方で、学童指導員の社会的

評価や処遇改善はまだまだ十分とは言えず、取り残されている状況にある。このままでは現場の負担が増すばかりで、優秀な人材の確保・定着も進まない。

- ③ 学童指導員の処遇改善、及び評価向上について、市としてどのように考えているのか、また人材確保についてもどのように考えているのか問う。
- ④ 学童指導員に求められている資質向上、専門的な知識、技術の習得について、市としてはどのように進めようと考えているのか。